

第3回学校運営協議会 議事録

- 1 日時 令和8年2月12日(木) 13時30分～
- 2 場所 会議室
- 3 学校長あいさつ
- 4 議事

資料に沿って説明を行い、その後に質疑応答を実施した。主な質疑応答は以下のとおりである。

【質疑応答】

- 保護者・生徒の点検シートに「電話の対応が良くない」「行事の連絡が遅い」とあるが、その対応はどうか。(M 委員)
 - BLEND で連絡できるようになり、保護者への連絡が容易になった。今後も活用していく。電話対応については改善を進めていく。
- 生徒アンケートに「先生がいらいらしている」等の記述があるが、先生のメンタルケアはどうか。(H 委員)
 - 県として健康調査等を行い、教員のメンタルケアをサポートしている。働き方改革も推進している。職員研修の実施や管理職へ気軽に相談するよう声を掛けている。
- 音楽室のエアコン設置の状況はどうか。(H 委員)
 - 音楽室と美術室へのエアコン設置要望は把握している。他の部屋も要望がある。県は県全体で計画的に設置を進めている。但し、選択教室は使用頻度が少ないため優先度は低い。今年度は本館3階の選択教室にエアコンが設置される予定である。
- 県予算には限界があるので、クラウドファンディングの活用はできないか。(H 委員)
 - 現時点でクラウドファンディングの取り組みはしていない。感染症対策として全ての部屋に扇風機は設置している。
- 卒業生への何か調査は行っているか。(H 委員)
 - 過去に県全体での調査は実施されたが、学校独自の調査は行っていない。卒業生が来校し生徒に話をしてくれる機会はある。
- 生徒が農林高校の歴史を学ぶ機会はあるか。(H 委員)
 - 創立記念日に学校の歴史について学ぶ機会を設けている。また、先人に学ぶ事業として、俳句・川柳などの取り組みを行っている。
- 「つまらない」という生徒の意見があるが、学習への興味喚起はできるか。(H 委員)
 - 各学科の特色ある行事や授業を通して興味を持たせたい。特徴的な活動や体験を、生徒間で広く情報共有することも重要と考える。資格取得なども学科を越えて情報共有できると良い。
- 学ぶ動機付けについてどう考えるか。(H 委員)

→ 他学科の学習内容や行事を知ることによって学びの動機付けにつながると考えている。周りの友達が学ぼうとする姿は、学びの動機づけになる。

5 意見交換・懇談

- ・調査結果は肯定的・否定的な点がどちらも提示されており、公平に判断できると感じた。先生方は自己診断である為、評価基準にばらつきが見られた。(A 委員)
- ・様々な要望が多く寄せられていたが、家庭でできることもあるのではないかと。生徒が学校でどのような活動をしているか、保護者が関心を持つことも必要である。PTA 関東大会で、保護者との連携が学校の強みになっている学校もあった。(B 委員)
- ・普通科は進学が主な目標だが、本校は5学科あり、各学科の特色と目標が異なる。農業クラブ全国大会に参加し、生徒の活躍に驚きと感動を覚えた。台湾では卒業生が学校をバックアップしている。交流経費の自己負担が壁になっている現状もある。経済格差を感じている。(D 委員)
- ・経営者の立場からすると、環境設備の整備は経営者が考えるべき点である。本社のインターン参加者も「高校時代にもっと勉強しておけばよかった」と言っている。先生が言いにくいことを地域や企業が伝えることで生徒が育つ。(N 委員)
- ・少子化の中で、学校の将来ビジョンが重要である。「どのような人材を育てるか、どう学校をPRするか、学校の強みは何か。AI や ICT を活用した学校づくりなど」の視点も必要である。(H 委員)
- ・校則の廃止や見直しはどうか。(H 委員)

→ 校則を無くすことはないが、毎年見直しを行っている。時代に合わせた見直しは必要である。校則は公開されている。(校長)

→ 大学は自己責任で校則がないが、18歳までは公教育として校則が必要である。(D 委員)

- ・調査コメントには少数意見も含まれており、必ずしも多数の意見ではない。学校への要望ではなく、家庭で指導すべき内容もある。(J 委員)
- ・1年間を振り返り、警察学校との交流などあっても良かったのではないかと感じた。竜王西小学校とは交通教育の交流を行っている。(K 委員)
- ・生徒の点検シート⑨～⑫は肯定的意見が多く、評価できる。9割の生徒が肯定的であることは、先生方の献身的な取り組みの表れである。(M 委員)

6 連絡事項

- ・学校関係者評価を FAX またはメールで 2月26日(木)までに送付していただきたい。
- ・次年度の学校運営協議会日程案を提示するので、予定しておいて欲しい。

以上